

# 第2四半期 決算説明資料 (2024年度)

2024年12月6日



# 2024年度 第2四半期 決算概要

## 2024年度 第2四半期累計期間の総括

- 当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、設備投資の増加等を背景に、景気は緩やかな回復基調にある一方で、為替相場の急激な変動や資源価格の高騰、不安定な国際情勢などにより、景気の先行きには依然として不透明感を残しております。
- このような事業環境の中、主要顧客である製造業からの受注が好調に推移したことに加え、商品についても堅調な受注を確保し、売上高は前年同期比11.6%増の62億53百万円となりました。
- 利益面では、製品売上高の大幅な増加の影響から製品原価は増加したものの、製品原価率の改善により売上総利益は前年同期比7.8%増の19億1百万円となりました。
- 販売費及び一般管理費は、9月に切り替えを行った新たな基幹システムに関わる費用負担もあり管理費は増加したものの、効率的な営業活動により販売費を削減し、全体としては前年同期比微増となる1.6%増の16億40百万円に抑えることができました。
- 以上の結果、営業利益は前年同期比73.7%増の2億61百万円、経常利益は93.6%増の3億3百万円、中間純利益は90.1%増の1億97百万円の増益決算となりました。

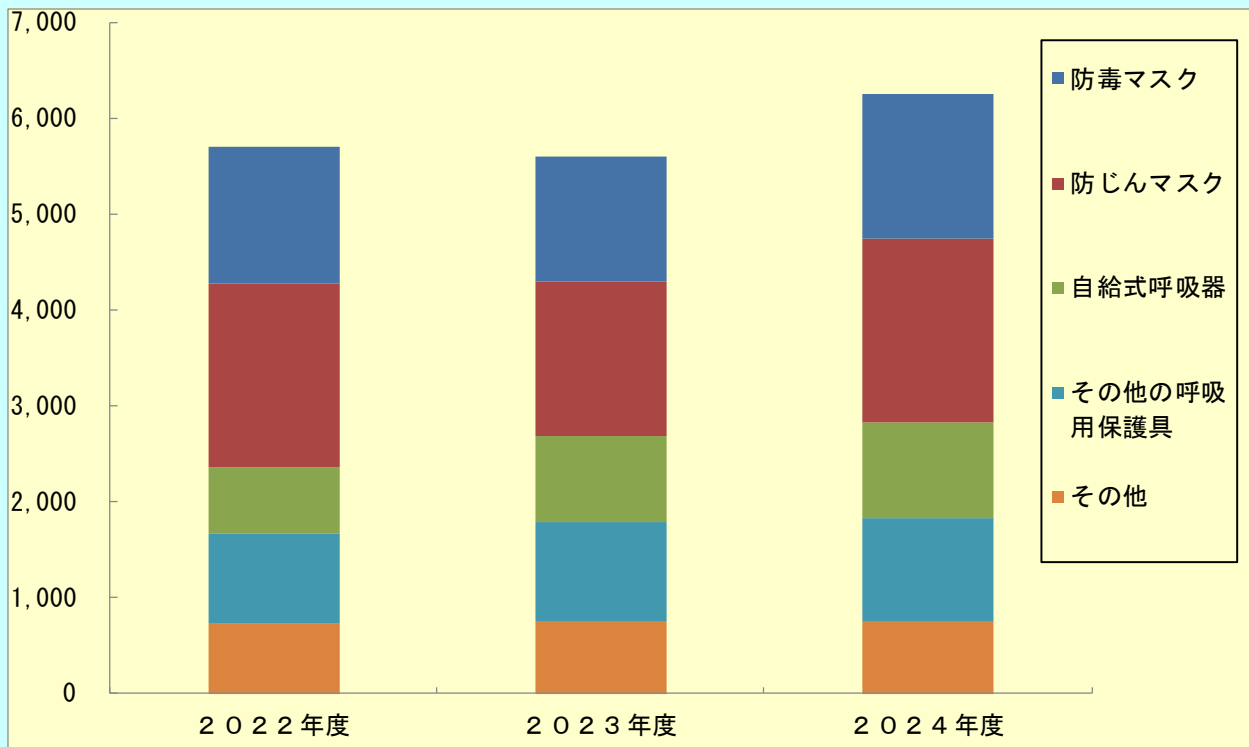
# 2024年度 損益の状況

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	23年度第2四半期	24年度第2四半期	前年同期間比増減	備 考
売 上 高	5,601.6	6,253.5	651.9	主要顧客である製造業からの受注が好調に推移したことに加え、商品についても堅調な受注を確保したことから、売上高は62億53百万となりました。
製品製造原価	2,839.9	3,131.3	291.3	前年同期比で、製品製造原価が2億91百万円増加、商品原価が2億23百万円増加し、売上原価全体では5億14百万円増加となりましたが、増収効果もあり売上総利益は1億37百万円増加の19億1百万円となりました。
商品原価	997.6	1,221.1	223.5	
売上原価	3,837.5	4,352.3	514.8	
売上総利益	1,764.1	1,901.2	137.1	
販売費及び一般管理費	1,613.8	1,640.2	26.3	販売費及び一般管理費は、前年同期比で26百万円増加して、営業利益が1億10百万円の増益となりました。
営業利益	150.3	261.0	110.8	営業外収益は為替差益を30百万計上したことから、全体で32百万円増加し、経常利益も前年同期比で1億46百万円の増益となりました。
営業外収益	26.1	58.6	32.5	
営業外費用	19.4	16.0	△3.5	
経常利益	156.9	303.7	146.8	特別損失は製造機械等の固定資産除却損が増加したことから、前年同期比で11百万円増加しました。
特別損失	2.8	14.5	11.7	
税引前中間純利益	154.1	289.2	135.1	法人税等調整額を含めた税負担後の中間純利益は1億97百万円、前年同期比で93百万円の増加となりました。
法人税、住民税及び事業税	54.2	80.7	26.5	
法人税等調整額	△4.2	10.6	14.8	
中間純利益	104.1	197.9	93.8	

## 第2四半期累計期間のセグメント別売上高推移

(単位：百万円)



(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

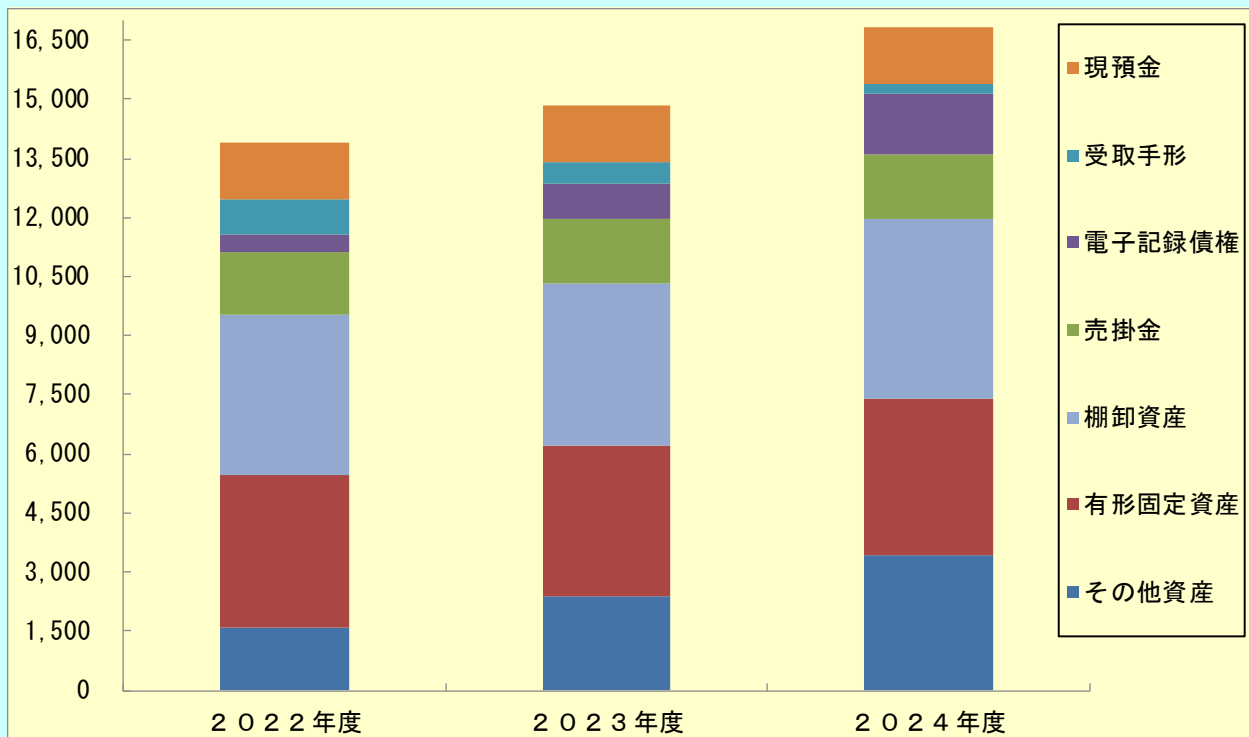
	2022年度	2023年度	2024年度
防毒マスク	1,444.6	1,299.3	1,513.8
防じんマスク	1,901.2	1,621.6	1,901.1
自給式呼吸器	707.7	884.1	1,001.5
その他の呼吸用保護具	931.7	1,043.1	1,078.5
その他	732.9	753.6	758.6
合計	5,718.1	5,601.6	6,253.5

### 当第2四半期累計期間の特徴

- ① 当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、設備投資の増加等を背景に、景気は緩やかな回復基調にある一方で、為替相場の急激な変動や資源価格の高騰、不安定な国際情勢などにより、景気の先行きには依然として不透明感を残しております。
- ② 主要顧客である製造業からの受注が好調に推移したことにより、製品売上高は46億11百万円と前年同期比で5億13百万円の増加、商品売上高は16億42百万円と前年同期比で1億39百万円の増加となりました。
- ③ 主要品目別では、防毒マスクは前年同期比で2億14百万円、防じんマスクは前年同期比で2億79百万円、自給式呼吸器は前年同期比で1億17百万円、その他の呼吸用保護具は35百万円の増加となりました。
- ④ また、その他項目では、前年同期比5百万円の増加となりました。

## 第2四半期末の主要資産状況推移

(単位：百万円)



### 当第2四半期累計期間の特徴

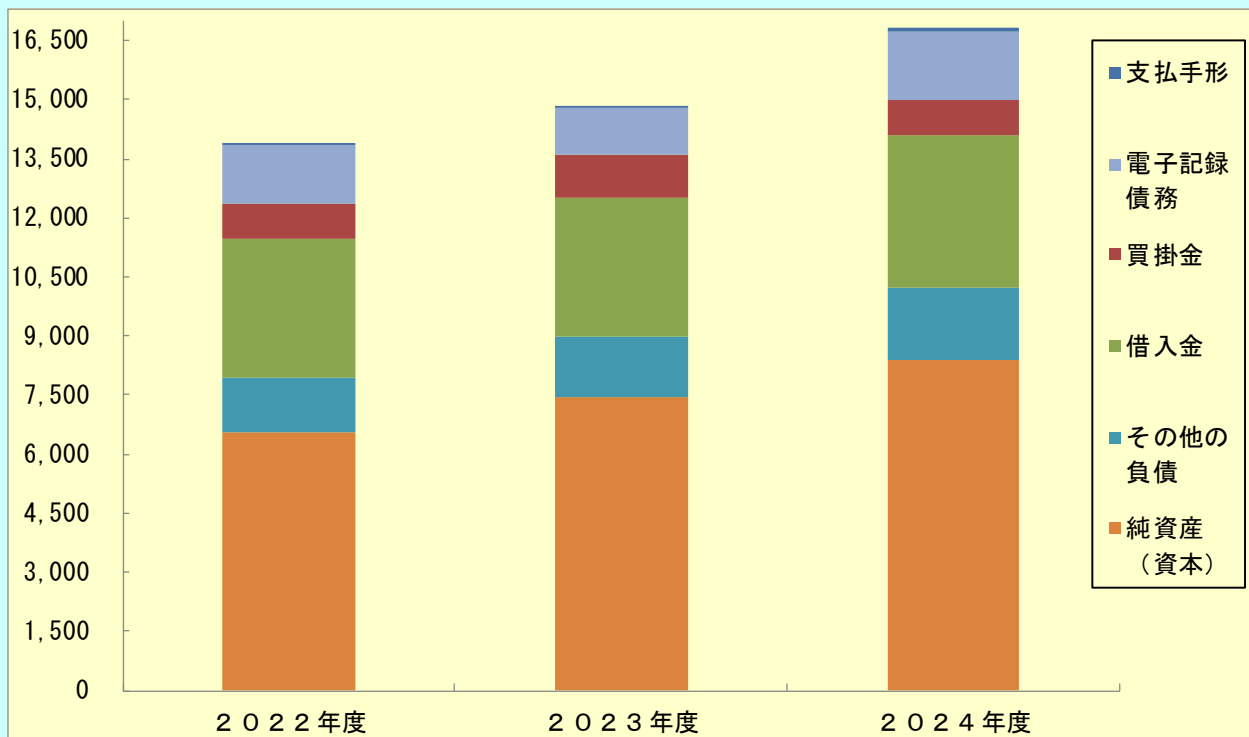
- ① 現預金の残高は、前第2四半期比で12百万円減少しましたが、これは通常の変動の範囲内にあるものです。
- ② 売上債権（受取手形＋電子記録債権＋売掛金）残高は、売上高の増加に伴い、前年同期比で3億19百万円の増加となりました。
- ③ 年度後半の繁忙期に向けての在庫積み増しに伴い、棚卸資産全体は、前年同期比で4億44百万円の増加となりました。
- ④ 有形固定資産は、建設中の船引第3工場にかかる費用を建設仮勘定として計上したこと等から、前年同期比で1億59百万円の増加となりました。

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	2022年度	2023年度	2024年度
現預金	1,458.1	1,433.6	1,421.3
受取手形	884.5	560.2	237.6
電子債権	432.7	925.0	1,571.1
売掛金	1,607.6	1,615.8	1,611.8
棚卸資産	4,055.0	4,143.8	4,588.6
有形固定	3,886.6	3,790.2	3,949.5
その他資産	1,595.6	2,394.7	3,448.4
総資産	13,920.1	14,863.3	16,828.5

## 第2四半期末の主要負債・純資産状況推移

(単位：百万円)



### 当第2四半期累計期間の特徴

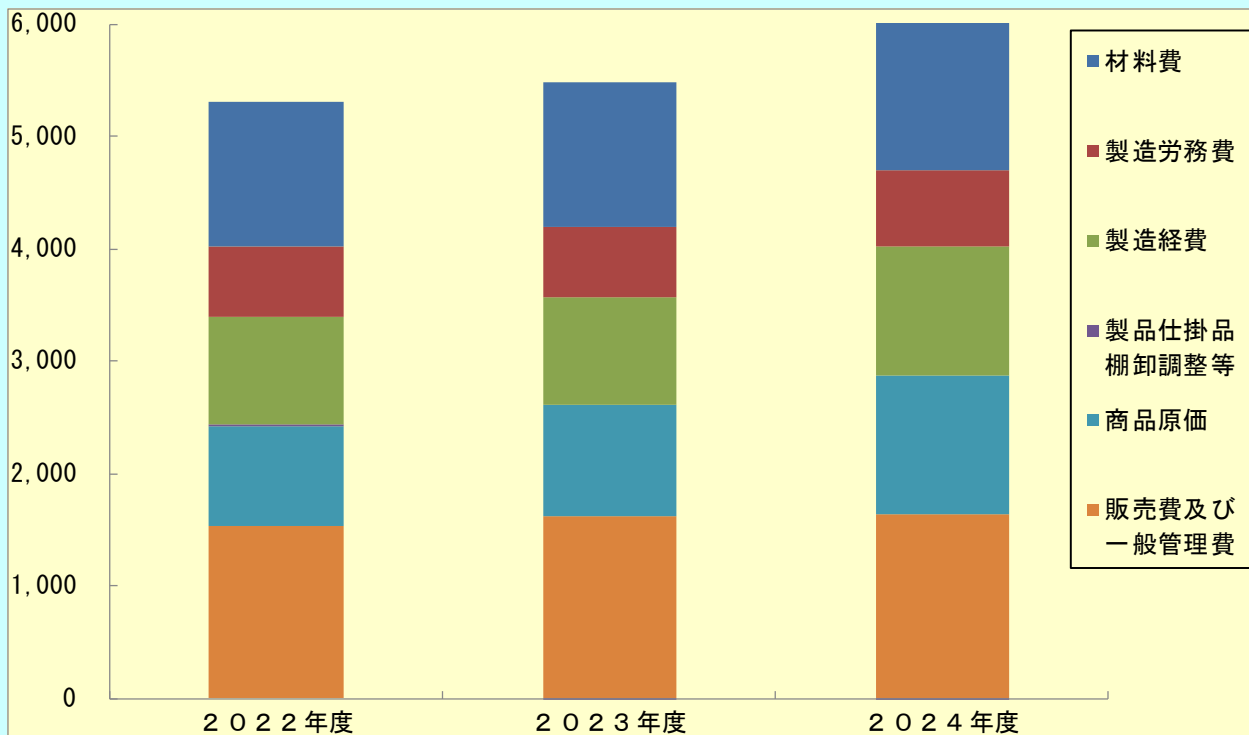
- ① 製品売上高の増加に伴う材料仕入の増加により、支払債務（支払手形＋電子記録債務＋買掛金）は、前年同期比で3億66百万円増加しました。
- ② 売上増加に伴う運転資金の増加等もあり、借入金残高合計は、前年同期比で3億50百万円の増加となっています。
- ③ 負債合計は10億21百万円増加、純資産は9億43百万円増加した結果、当第2四半期末の自己資本比率は49.9%となりました。

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	2022年度	2023年度	2024年度
支払手形	85.8	44.9	80.2
電子記録債務	1,454.3	1,195.8	1,765.4
買掛金	896.0	1,097.9	859.5
借入金	3,535.0	3,520.0	3,870.0
その他の負債	1,406.1	1,548.2	1,852.9
純資産	6,543.0	7,456.6	8,400.5
合計	13,920.1	14,863.3	16,828.5

## 第2四半期累計期間の売上原価・販売管理費状況推移

(単位：百万円)



(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

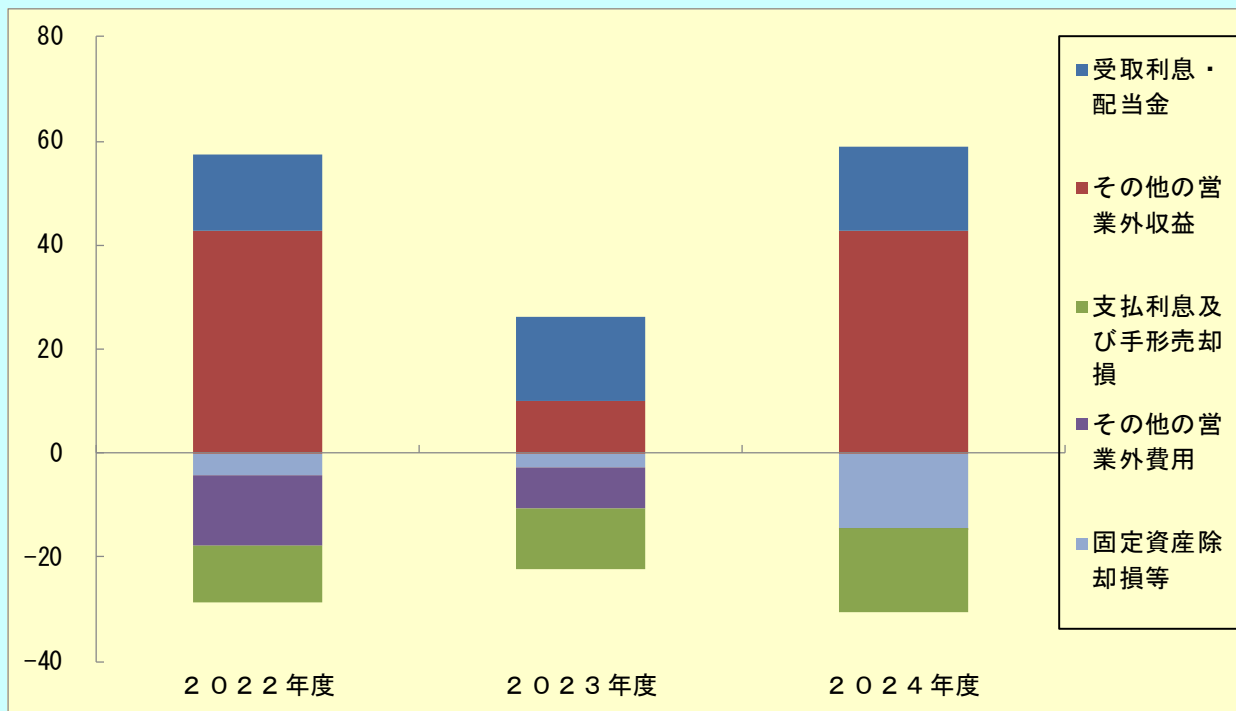
	2022年度	2023年度	2024年度
材料費	1,291.3	1,282.4	1,533.2
製造労務費	629.2	627.9	668.9
製造経費	960.9	950.5	1,162.9
製品仕掛品棚卸調整他	10.4	-20.9	-233.7
商品原価	891.8	997.6	1,221.1
販売費及び一般管理費	1,527.9	1,613.8	1,640.2
合計	5,311.5	5,451.3	5,992.5

### 当第2四半期累計期間の特徴

- ① 材料費は、製品売上高の増加に伴う材料仕入の増加により、前年同期比で2億50百万円増加しました。製造労務費は、製品の増産対応等を行ったことにより、前年同期比で41百万円増加しました。製造経費は、外注加工費・修繕費等の増加により、前年同期比で2億12百万円増加した。
- ② 自給式呼吸器等の増加に伴い、商品原価は2億23百万円増加となりました。
- ③ 販売費及び一般管理費は、基幹システムに関わる費用負担により、一般管理費が増加したものの、効率的な営業活動により販売費を削減した結果、全体としては26百万円の増加に留まりました。

## 第2四半期累計期間の営業外・特別損益推移

(単位：百万円)



### 当第2四半期累計期間の特徴

- ① 為替差益を30百万円計上したこと等から、その他の営業外収益は、32百万円の増加となりました。
- ② その他の営業外費用は、昨年度計上した為替差損がなくなったこと等から、前年同期比で7百万円の減少となりました。
- ③ 特別利益に計上すべきものは特にありません。
- ④ 特別損失は、機械等の固定資産除却損を14百万円計上しています。

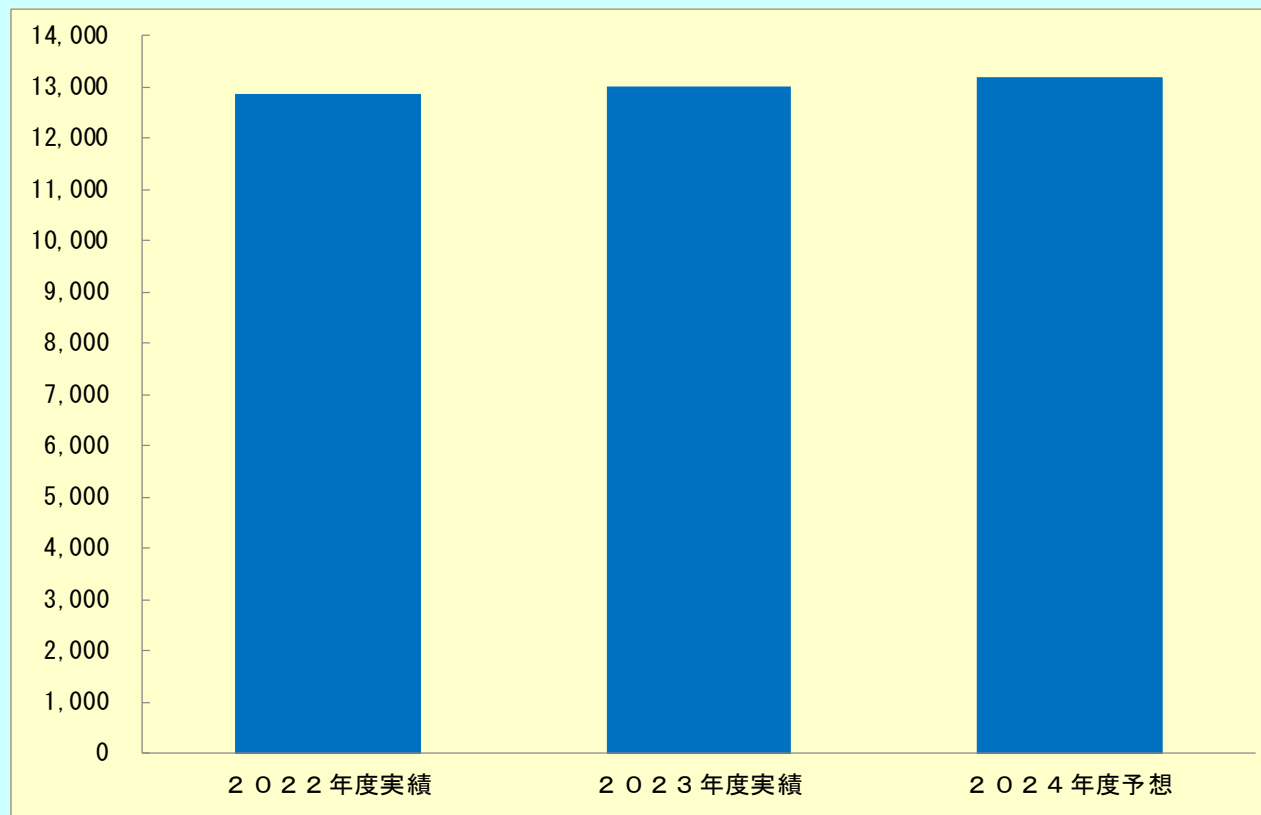
(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

		2022年度	2023年度	2024年度
営業外損益	受取利息・配当金	14.8	16.0	16.0
	その他の営業外収益	42.6	10.1	42.7
	支払利息及び手形売却損	△ 11.1	△ 11.5	△ 16.0
	その他の営業外費用	△ 13.5	△ 7.9	△ 0.0
	営業外損益合計	32.8	6.6	42.7
特別損益	固定資産除却損	△ 4.1	△ 2.8	△ 14.5
	特別損益合計	△ 4.1	△ 2.8	△ 14.5

# 2024年度通期業績予想

## 2024年度通期の売上高予想

(単位：百万円)



(単位：百万円、小数点未満四捨五入)

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度予想
通 期	12,876	12,995	13,200

### 状 況 と 見 通 し

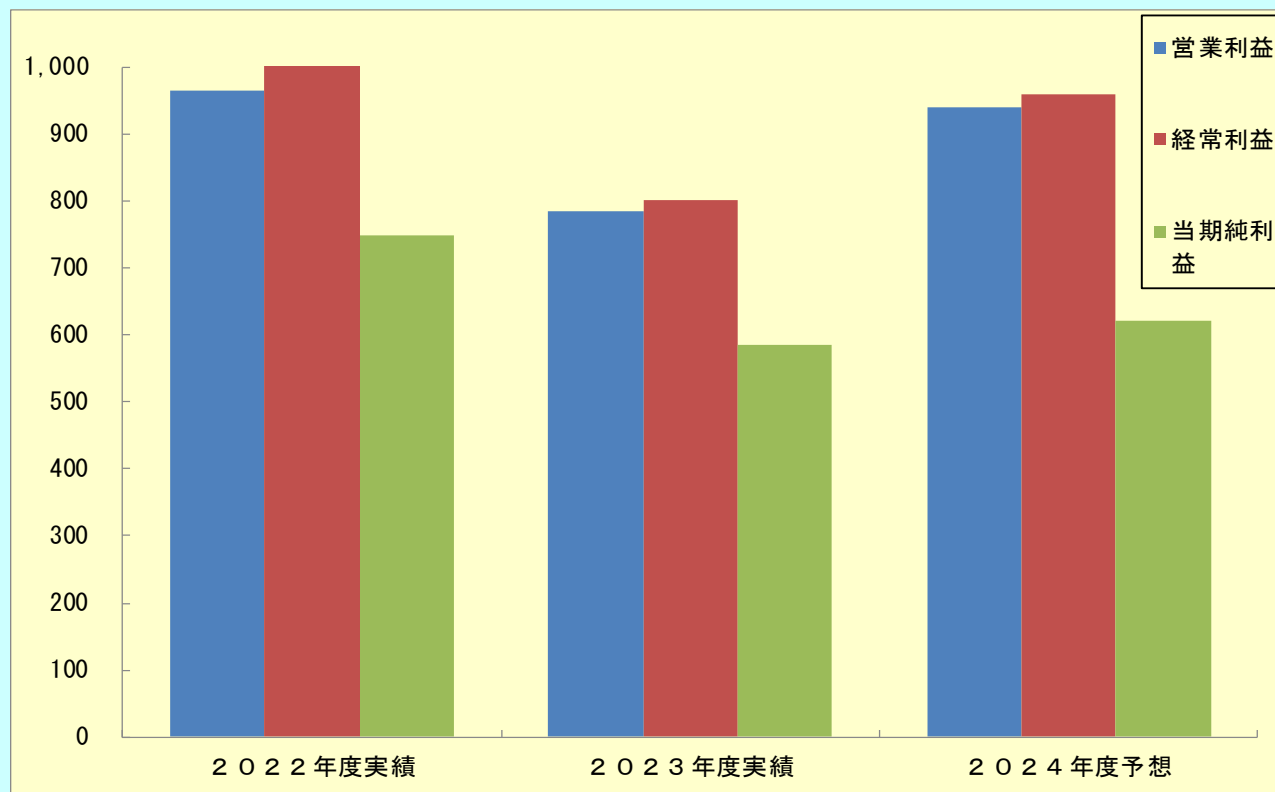
当第2四半期累計期間の売上高は、主要顧客である製造業からの受注が好調に推移したことに加え、商品についても堅調な受注を確保したことから、売上高は前年同期比11.6%増の62億53百万円となりました。

通期の売上高予想値につきましては、主要顧客である製造業の受注動向は今後も堅調に推移していくものと思われませんが、年度後半以降の業況を見極める必要があることから、現時点では本年5月に公表した132億円の予想値に修正はありません。

今後、上記の見通しに変化があると予想された場合には、適時開示規則に則り、速やかに業績予想の修正発表を行ってまいります。

## 2024年度通期の利益予想

(単位：百万円)



### 状況と見通し

下期の利益予想につきましては、我が国を取り巻く経済環境、社会情勢において、見通しにプラスマイナス要因が混在しており、不透明感があるのが実情です。

以上のことから、現時点では、本年5月に公表しました通期の利益予想につきましても修正は行わず、営業利益9億40百万円、経常利益9億60百万円、当期純利益6億20百万円を見込んでおります。

今後、上記の見通しに変化があると予想された場合には、適時開示規則に則り、速やかに業績予想の修正発表を行ってまいります。

(単位：百万円、小数点未満四捨五入)

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度予想
営業利益	965	785	940
経常利益	1,025	801	960
当期純利益	748	584	620